

つれもて聞こら

食

農

環境

近畿農政局和歌山県拠点

出張講座

- ・食べものの大切さがわかる！
- ・日本の農業について学べる！
- ・環境とのつながりを知る！ など

※費用は無料

※職員の派遣費用はかかりません。
ただし、会場の手配やそれにかかる
費用は申込者の負担となります。

次世代を担う子どもたちに食や農林水産業の大切さを
少しでも理解してもらうことを目的に、職員が学校などで、
わかりやすく、楽しくお話をさせていただきます。

お問い合わせ・お申し込み先

近畿農政局和歌山県拠点

企画担当まで

電話：073-436-3852

フォームにご記入のうえ、お送りください。

後日、こちらから連絡いたします。

ウェブサイトからも

お申し込みできます⇒



<https://www.maff.go.jp/kinki/tii/ki/wakayama/kouza/kouza.html>



出張講座の様子

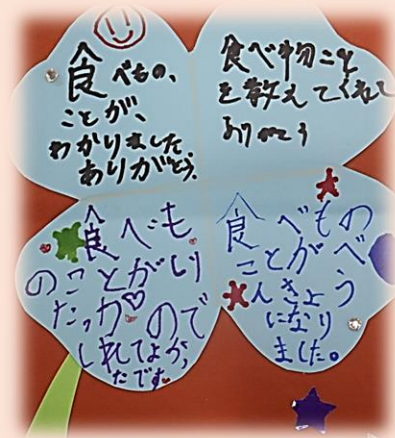


日本の食べものについてよくわかった。

(自由に書いてください)
 だされたごはんはのこさずにとべるとよく、
 じょうりつもあがると思う。

日本の食料自給率が60年前の米がういにな
 いてびっくりした。

子供たちの感想



資料・パンフレットなど(例)

講座資料

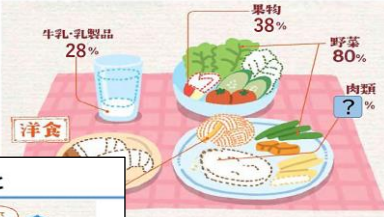
パンフレット

日本の食べ物のお話と環境 かんきょう

令和〇年〇月〇日
 〇〇小学校 5年

MAF
 農林水産
 近畿農政局和歌

国産食材だけで作った食事 ~洋食の場合~



食料自給率を高めるためにできること



※一例であり、内容は変更となる場合がございます
 ※ご要望に応じて分量などを調整させていただきます。

知ってる? このままでいい?
日本の食料のこと!

~いつもおいしい食べものを食べられるように、私たちができること~

この前、家族でバイキングいったんよ。ハンバーグ、バスタにお寿司...いろいろあって、迷ってたわ。

「バイキングコース」

「そやけど、この料理ぜんぶ日本の食材で作られてるんかな?」

「お母さんが、「外国から食べものが入ってこないよ、値段が高くなって困る」って、いうたわ。」

「調べてみようか。」

農林水産省
 近畿農政局和歌山県拠点

昨年度の実績

小学校4件、中学校2件、支援学校1件、学童クラブ2件、一般11件